

し し せ き きゅうりくぐんちようふひこうじょう しらいとだいえんたいごう
市史跡 旧陸軍調布飛行場 白糸台掩体壕 特別公開



▼掩体壕 AR 体験

以下の二次元コードを読み込むと
掩体壕の当時の様子を立体的に見る
ことができます。ぜひ体験してみ
てください。



「市史跡 旧陸軍調布飛行場 白糸台掩体壕」は、アジア・太平洋戦争末期の昭和19年（1944）に、調布飛行場周辺に戦闘機を空襲から守るために造られた格納施設（いわば「戦闘機用の防空壕」）です。

終戦後80年以上経過し、戦争の記憶が風化していく中、市では当時の状況や平和の尊さを次世代へと伝えていくための貴重な文化財（戦争遺跡）として、掩体壕を保存しています。

「東京文化財ウィーク2025」（10～11月）開催に伴い、解説パネルの展示とともに、普段は入れない掩体壕の内部を公開します。ぜひご来場ください。

■日時 **令和7年11月3日（月） 午前10時から午後4時まで（※荒天中止）**

■所在地 府中市白糸台2丁目17番地

■交通 西武多摩川線 白糸台駅から徒歩五分

京王線 武蔵野台駅

から徒歩5分／ ちゅうバス 白糸台二丁目

バス停から徒歩2分（※駐車場なし）

※公共交通機関をご利用ください。

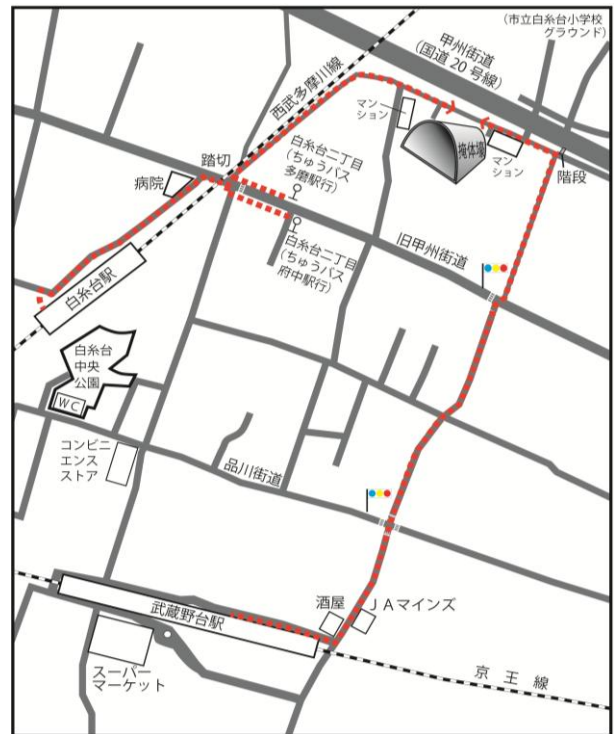
■その他 入場無料。

「被爆樹木二世 アオギリ」～ 平和の樹 ～

府中市では、平成28年（2016）11月3日に、「平和都市宣言30周年」を記念し、白糸台掩体壕のそばに、広島市より譲り受けた「被爆樹木二世 アオギリ」の苗木を植樹しました。

現在、平和のシンボルとして、樹は大きく成長しています。

あわせてご覧ください。



【問い合わせ先】府中市文化スポーツ部ふるさと文化財課 電話 042-335-4471（平日のみ）